

# イカナゴ情報 No.1 (2018年5月)



道総研

平成30年5月25日

道総研稚内水産試験場調査研究部 (担当: 堀本) Tel. 0162-32-7166

宗谷海峡周辺において主に沖合底びき網により6~9月に漁獲されるイカナゴ類<sup>1</sup>の漁獲物調査と漁場環境調査の結果についてお知らせします。

## 海洋観測: 漁場 (水深40~80 m) における底層水温は昨年同時期並み

宗谷海峡東方海域において5月23~24日に試験調査船北洋丸によるイカナゴ類漁場の環境調査を行いました(図1)。観測ラインの水温断面図をみると、ラインAではIS02からIS05(水深40~80 m)の海域までは水温4~6℃の水塊が占めていました。ラインBではごく沿岸域を除いて水温8℃以下の水塊が漁場全体を占めていました。ラインCでは水深40 m以深の海域を水温7℃以下の水塊が占め、イカナゴ類漁場周辺の底付近の水温は昨年同時期とほぼ同じ傾向がみられました。

イカナゴ漁場に近い観測定点OA10の深度60 mにおける水温の経年変化を図2に示しました。6月の漁模様がよくなかった2008年、2012~2014年は水温が低めで推移していました。今年はこれらの年と同程度の低い水温となっていました。

## 魚探観測: 水深40~60 m にイカナゴ類とみられる濃密な反応を確認

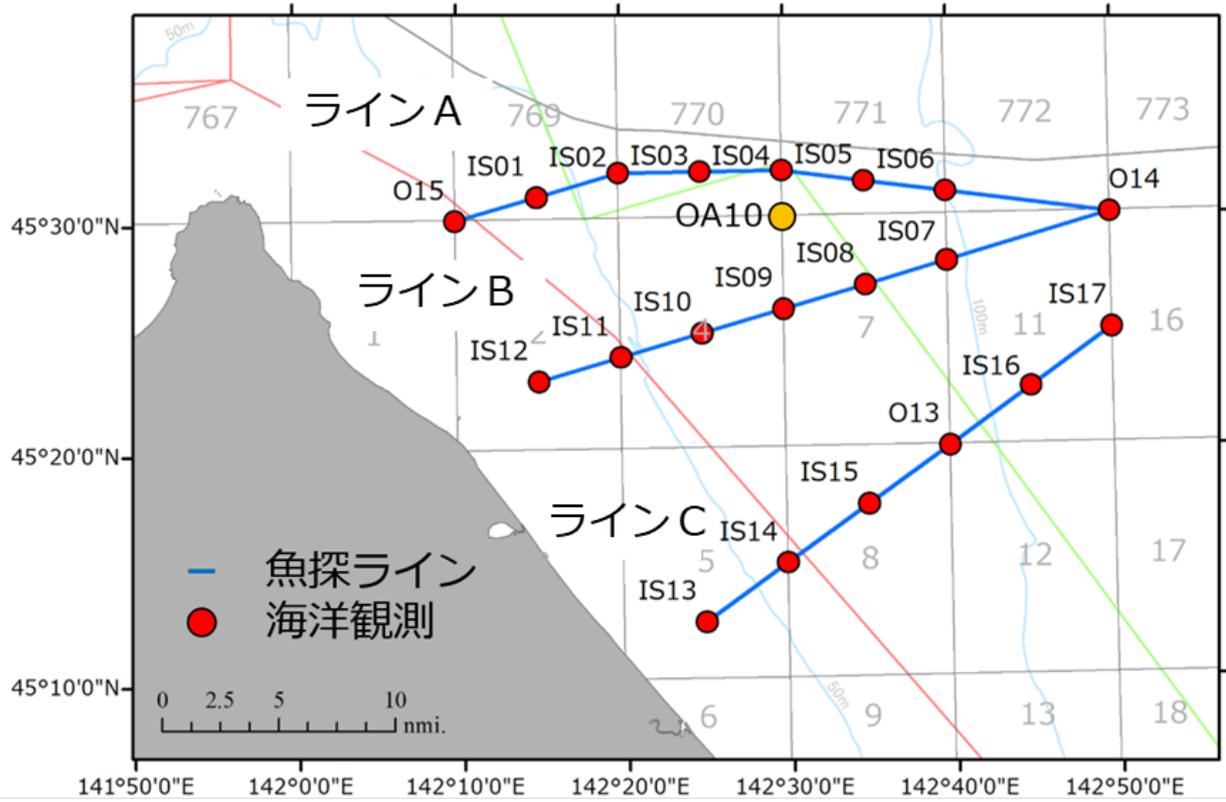
海洋観測と同じラインで実施した魚探観測では、ラインAのIS02付近(水深40~60 m)でイカナゴ類の魚群とみられる濃密な反応を確認しました(図3)。ラインB、Cでも水深90~110 mにイカナゴ類とみられる棒状反応を確認しました。

## 漁獲物組成: 体長21~23 cm が中心 19 cm 以下の小型個体も混ざる

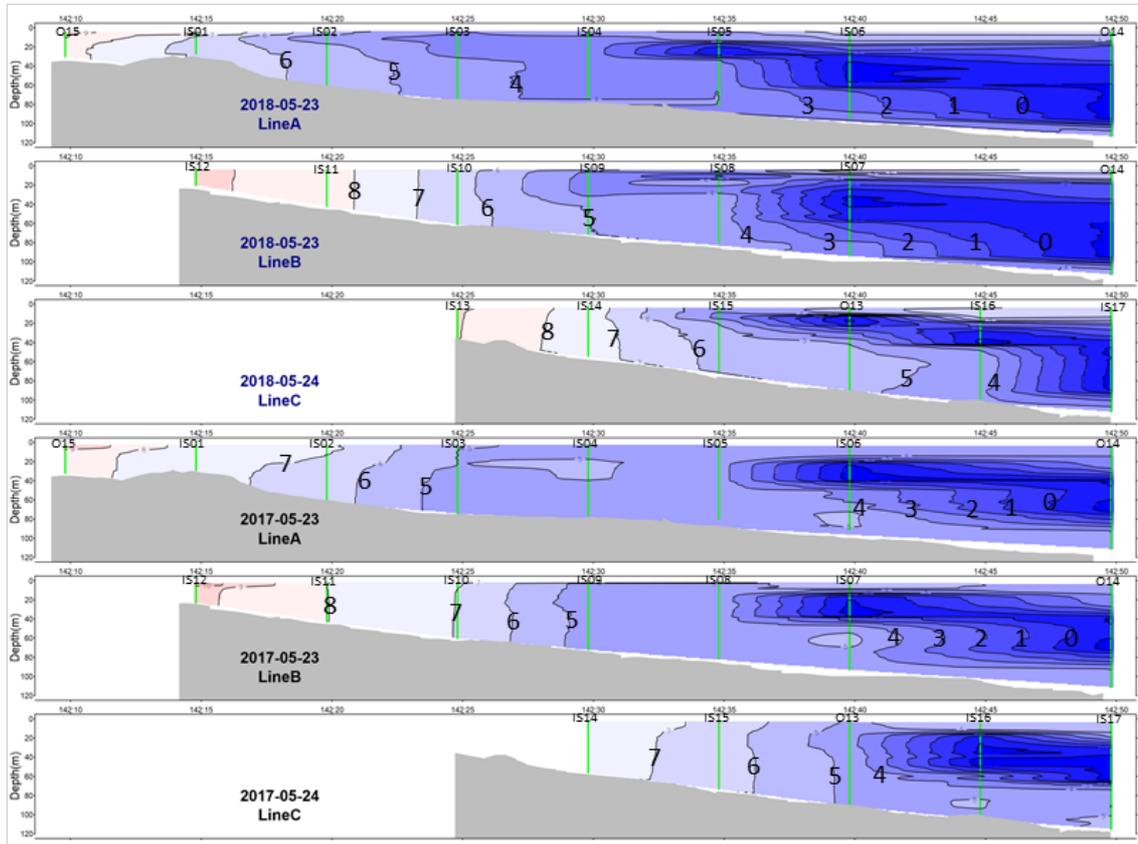
ラインAのIS02付近(水深60 m付近)で、オッタートロールによりイカナゴ類を採集しました。標本の体長は21~23 cmの個体が多く、18~19 cmの小型個体もみられました(図4)。

---

<sup>1</sup> イカナゴ類にはイカナゴ, オオイカナゴ, キタイカナゴの3種が含まれる (Orr *et al.*, 2015)



2018年



2017年

図1. 海洋観測・魚探観測ラインの位置と水温断面図。  
 昨年同時期の水温断面図も合わせて示した。

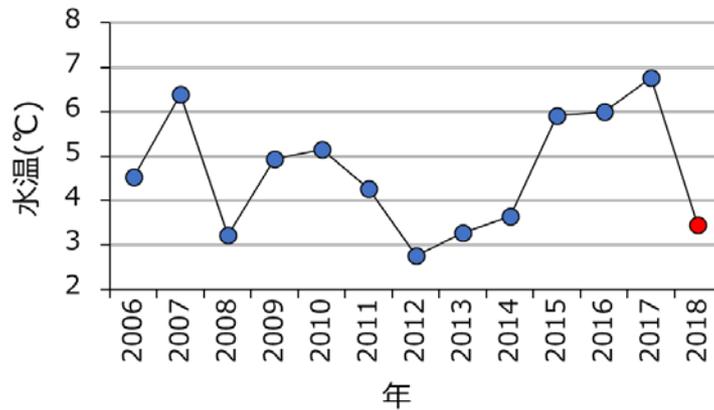


図2. 過去10年の6月定期海洋観測における定点0A10深度60mの水温推移。  
2018年は0A10にもっとも近いIS04の観測結果を示した。  
(オホーツク海 6 月定期海洋観測は 5 月下旬～6 月上旬に実施)。

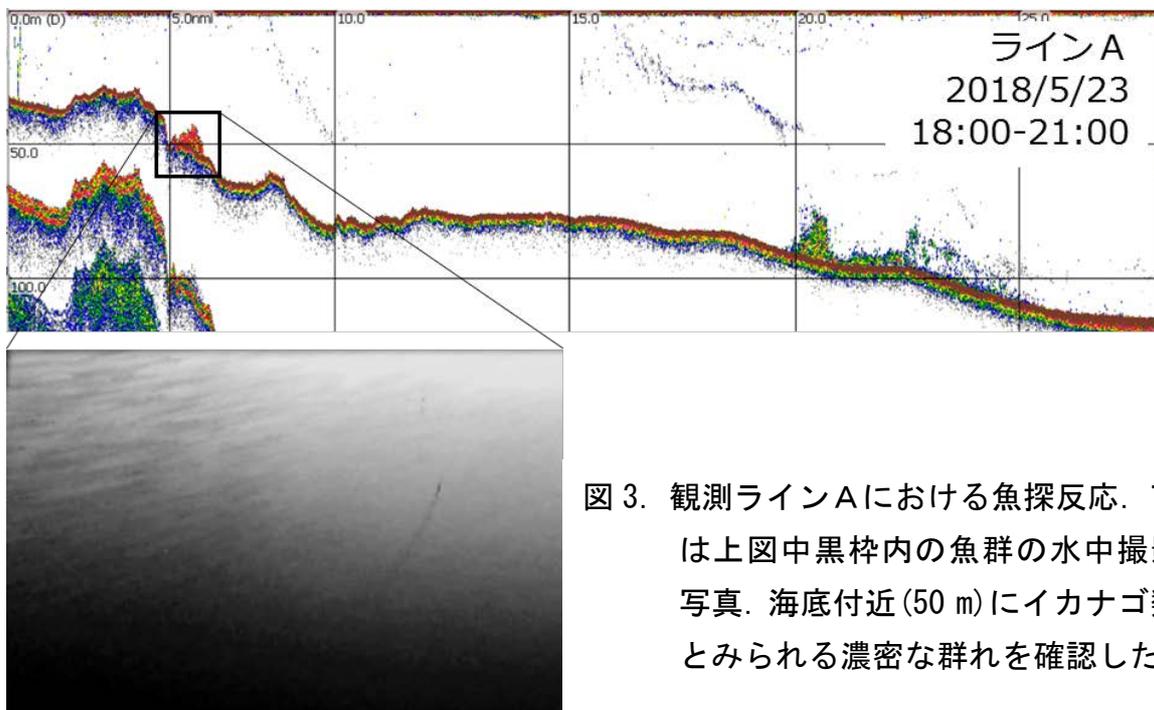


図3. 観測ラインAにおける魚探反応. 下は上図中黒枠内の魚群の水中撮影写真. 海底付近(50 m)にイカナゴ類とみられる濃密な群れを確認した.

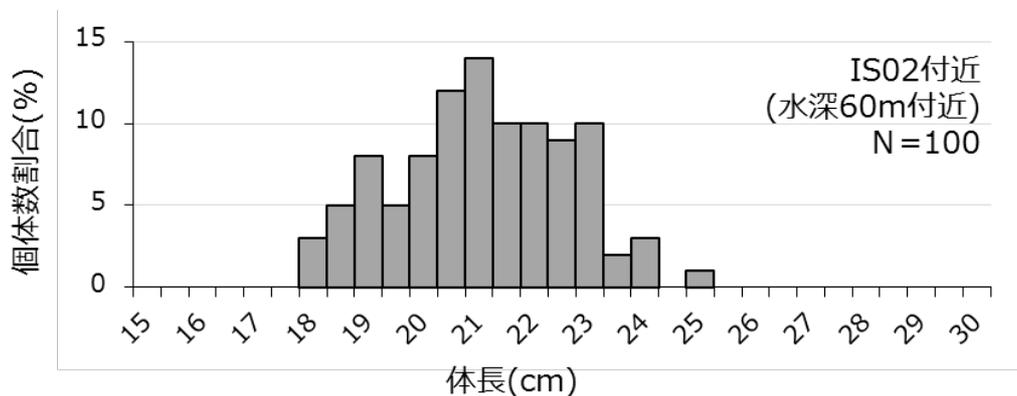


図4. オッタートロールで採集したイカナゴ類の体長組成.